

委員会の審査から

委員会録画中継は
こちらから



町田市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

文教社会

2月20日、3月6日・7日に議案11件、請願6件の審査を行いました。

町田市の多文化共生政策の抜本的な推進を求める請願

委員 外国人支援の見直しを今後していくとあったが、多文化共生に関する取組は、今後その見直しによって強化されているということか。

文化振興課長 強化されていくと考えています。今アンケートを取っていますので、その結果ですとか、国際交流センターの話し合いを踏まえて、注力していく取組を検討中です。具体的には、ごみの出し方の話ですとか、就学に関する話など、あとは日常生活に関する情報提供を庁内の部署と連携して丁寧に行っているというところ、日本語教室ですとか、相談支援も手厚くしていくところなどを考えています。

令和7年度(2025年度)町田市一般会計予算(教育センター費)

委員 分教室型学びの多様な化学科について、どのような形でスタートするのか、また生徒は何人ぐらいいるのか。

教育センター担当課長 25年4月から開室をさせていたいただきます。中学校を対象とし、1年生が5名、2年生が1名、3年生が6名、計12名でスタートする形となります。

教育センター担当課長

基本的には数学科と外国語科、理科の3教科を担当が担う形になります。それ以外の教科は、会計年度任用職員の教員の配置をしたりとか、講師の先生等にご協力をいただいで、全教科指導を当たるという形で対応させていただきます。

総務

2月20日、3月10日・27日に議案13件の審査を行いました。

町田市外部監査契約に基づく監査に関する条例の一部を改正する条例

委員 残りの1年は改善の取組ということだが、全庁横断的に政策経営部のほうで、その取組状況をチェックする形に今後なるのか。

経営改革室課長

経営改革室、制度所管部署と併せて、全庁横断的な改善の取組を行うっていきいたいと考えています。

委員

包括外部監査が2年に1回になることによって、その措置情報の公表のスケジュールに影響を与えるのか。

経営改革室課長

措置状況の報告は、監査を受けた部署で、対応ができていないか、報告させていたかどうか、報告しています。指摘や意見に対する改善を毎年度、その進捗状況

況は確認していきます。実施頻度が2年に1回になったとしても措置の報告は毎年度行っていると考えています。

町田市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

委員

仕事と介護の両立支援の制度で、職員が介護に直面した旨を申し出たときに、個別の周知、意向の確認をするということだが、役割は今後誰がやるのか。

職員課長

基本的には職員課のほうで、窓口等に相談に来ていただいたときに対応する予定です。

委員

意向の確認をヒアリングしたシートとか、記録に残すのか。

職員課長

口頭での説明を想定していますが、今後、ヒアリングしたシートと、記録に残すのか。

アラインメントであるとか、必要に応じて作成していきいたいと考えています。

令和7年度(2025年度)町田市一般会計予算(国勢調査の実施)

委員

郵送でもいいというふうに変ったような気がしますが、回収率はどれぐらいあるか。

市政情報課長

国勢調査については、回答の方法として、調査員に手渡しする方法と郵送で行う方法、インターネットで回答する方法と3つあります。前回の令和2年の国勢調査の回答率としては、全体で78・9%、そのうちインターネットでの回答が41・4%、郵送もしくは手渡しでの回答について37・4%となっています。

建設

2月20日、3月6日・7日に議案13件の審査を行いました。

令和7年度(2025年度)町田市一般会計予算(容器包装プラスチック分別収集・資源化啓発事業)

委員

1つの目安として協力率があると思うが、先行している南がどのぐらいで、新規に始まるものはどのぐらいを見込んでいるのか。

環境政策課長

分別協力率は現在35%程度になるんですけども、それを40%にしていきたいと考えています。

委員

容器包装プラスチックの回収について、南側でやっていますマナーといった点に課題はあるか。

環境政策課長

リレーセンターみなみで、汚れているものですか、刃物ですとか、そういった実際にはリサイクル

令和7年度(2025年度)町田市国民健康保険事業会計予算(人間ドック補助事業)

委員

対象者が成人健康診断を受けていない人となっているが、その理由は。

保険年金課長

人間ドックを受診している方から成人健康診断と同じ検査項目の結果を提出していただくことで、その方を成人健康診断の対象者とみなすために、補助対象者の条件を成人健康診断の対象者と同様に設定しているところです。

委員

既に成人健康診断を受けている人が、より深く人間ドックで検査したい場合は、対象にならないという認識でよいのか。

保険年金課長

成人健康診断を受けている方は、人間ドック

の補助の対象にはならないというふうになっています。

委員

補助の内容について、比較して同等ぐらいなのか。

保険年金課長

多摩26市では16市が人間ドック補助を実施しています。補助額は5000円から3万円と開きがあります。町田市は、人間ドックそのものを推進することではなく、受診している方から成人健康診断と同じ検査項目の結果を収集することが目的になっていますので、成人健康診断の市の負担額と同額の1万円を補助の上限としています。成人健康診断の費用が、1人1万4000円程度で、うち4000円、国から補助が出ています。市の負担額が1万円となっているので、同額を上限としているところです。

令和7年度(2025年度)町田市鶴川駅南土地区画整理事業会計予算

委員

債務負担行為もあって、25年度で大きく出るような予算になっているが、何か理由はありますか。

地区街づくり課担当課長

25年度は物件移転が24年度に比べ多くなり、約17棟を予定しています。物件移転補償費が大きく上がるとのこと、調整池の工事、今まで調整池の川に流すためのけい口を造る工事を行っていましたが、25年度から本工事に入っていきますので、その工事費が上がるということです。